

ご利用の手引き Ver4.00

必ずお読みください

- 弊社が提供する、リモートネットワークサービスの取扱操作説明・管理操作説明・注意事項・制約事項を記述しています。
- ご契約者に提供する機器は、ご購入頂く機器によって異なります。
- お客様データの消失による損害、その他本サービスおよび使用説明書の使用または使用不能により生じた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- サポート対応やメンテナンスなど、サービスの正常提供に必要な範囲で、お客様機器および、管理画面にログインさせていただくことがあります。
- お客様が追加、修正した情報、パスワードの管理などはお客様にてお願いいたします。
- お客様がご利用の ISP (インターネット サービス プロバイダー) の障害や、回線の障害時にはサービスをご利用いただけないことがあります。
- ブラウザーは最新版をご利用ください。

おことわり

- 本書の内容の一部または全部を無断で複製することは禁止されております。
- 本書の内容は事前の予告なく変更されることがあります。
- 運用した結果の影響については責任を負いかねますので、ご注意ください。

目次

必ずお読みください	2
おことわり	3
目次	4
はじめに	6
この本の読みかた	6
マークについて	6
機器の交換	7
事前準備	7
シリアルナンバーと MAC アドレスを確認する	7
作業用パソコンとネットワーク機器を接続する	7
IP アドレスを確認する	9
疎通確認する	10
ネットワーク機器にブラウザで接続する	10
Hardware address を確認する	11
Uplink configuration にログインする	11
PPPoE を設定する	12
ネットワーク機器を交換する (Z1、MX64、MX64W、MX80、MX84 のみ)	12
正常に接続されているか確認する	13
無線 LAN および VPN の管理	14
ユーザー管理ポータル画面にログインする	14
クライアント VPN ユーザー/無線 LAN ユーザーを新規追加する	14
クライアント VPN ユーザー/無線 LAN ユーザーの情報を変更する	16
クライアント VPN ユーザー/無線 LAN ユーザーを削除する	17
DDNS 名を確認する	17
VPN クライアント(L2TP/IPsec)を設定する (パソコン版)	18
リモートアクセス設定ウィザードを実行する (パソコン版)	18
プロパティを設定する (パソコン版)	20
接続する (パソコン版)	21
切断する (パソコン版)	23
動作を確認する (パソコン版)	24
VPN 接続画面を起動する (パソコン版)	24
VPN クライアント(L2TP/IPsec)を設定する (iOS 版)	27
L2TP を設定する (iOS 版)	27
接続と切断を確認する (iOS 版)	29
VPN クライアント(L2TP/IPsec)を設定する (Android 版)	31
L2TP を設定する (Android 版)	31

接続を確認する (Android 版)	34
切断を確認する (Android 版)	35
無線プロファイルを設定する (パソコン版)	37
プロファイルを設定する (パソコン版)	37
動作を確認する (パソコン版)	39
手動による設定 (パソコン版)	40
無線プロファイルを設定する (iOS 版)	43
プロファイルを設定する (iOS 版)	43
動作を確認する (iOS 版)	46
無線プロファイルを設定する (Android 版)	47
プロファイルを設定する (Android 版)	47
動作を確認する (Android 版)	50
お問い合わせ先	51
商標	52

はじめに

本書は、リモートネットワークサービスをご契約いただいたお客様で、ネットワーク管理者となられる方を対象とした、導入手順などを記述した使用説明書です。本書の構成は以下のとおりです。

機器の交換

機器に障害が発生したときの交換手順を説明します。

無線 LAN および VPN の管理

無線 LAN ユーザーとクライアント VPN ユーザーに関する各種設定方法を説明します。

また、作業するときは以下を準備してください。

- ・ LAN ケーブル (ストレートケーブル)

この本の読みかた

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

各タイトルの最後に記載しています。

[]

画面のキーや項目の名称を示します。

機器の交換

↓ 補足

- ・オプションメニュー「バックアップ機サービス」をご利用のお客様は p.12 「ネットワーク機器を交換する」から作業を開始してください。

事前準備

シリアルナンバーと MAC アドレスを確認する

箱の側面に記載されているシリアルナンバー（S/N）と MAC アドレスが、機器本体の裏面に記載されているシリアルナンバーと MAC アドレスに一致していることを確認し、以下に控えておきます。

シリアルナンバー

MAC アドレス

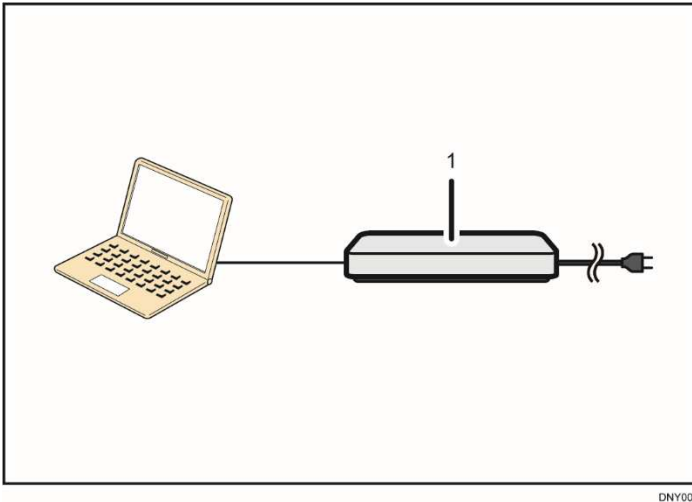


DNY001

作業用パソコンとネットワーク機器を接続する

作業用パソコンの IP アドレスを DHCP に設定し、ネットワーク機器と有線 LAN で接続します。
ネットワーク機器のポート名称は機種によって異なります。以下の接続図を参照してください。

・基本的な接続図



DNY002

1. ネットワーク機器

- Z1 のとき : LAN1 ポートに接続
- MX64、MX64W、MX80、MX84 のとき : management ポートに接続
- MR18、MR33、MR34、MR42 のとき : ポートに接続

Z1、MX64、MX64W、MX80、MX84 の接続ポートは以下の図のようになります。



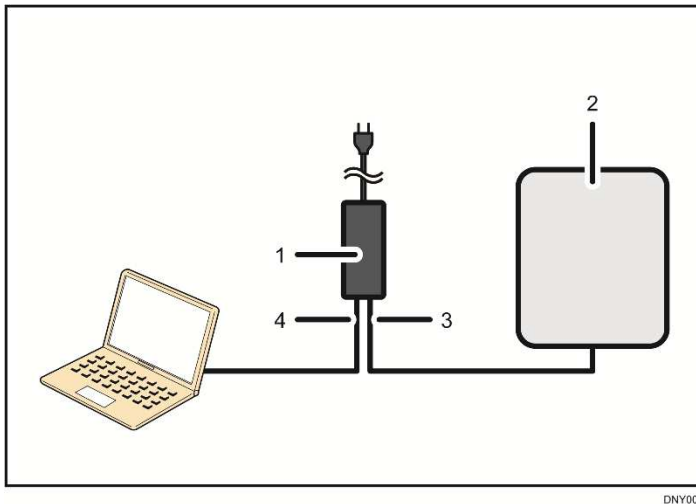
DNY003

MR18、MR33、MR34、MR42 の接続ポートは以下の図のようになります。



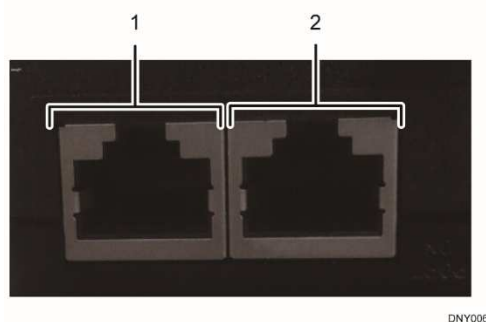
DNY004

・ Cisco Meraki 純正パワーインジェクターを使用した接続図



1. パワーインジェクター
2. 無線アクセスポイント (MR18、MR33、MR34、MR42) : ポートに接続する
3. パワーインジェクターの「DATA and Power out」ポートに接続する
4. パワーインジェクターの「DATA in」ポートに接続する

パワーインジェクターの接続ポートは以下の図のようになります。



1. 「DATA in」ポート
2. 「DATA and Power out」ポート

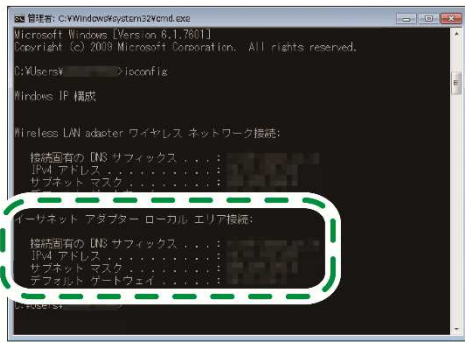
IP アドレスを確認する

作業用 PC でコマンドプロンプトを起動し、ipconfig コマンドを実行します。
表示された結果を確認し、以下に控えておきます。

IP アドレス (例 192.168.31.255): _____

サブネットマスク (例 255.255.0.0): _____

デフォルトゲートウェイ (例 192.168.0.1): _____



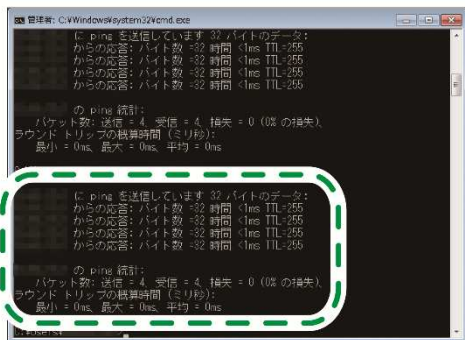
DNY007

↓ 補足

- ・割り当てられる IP アドレス、サブネットマスクなどは機種によって異なります。

疎通確認する

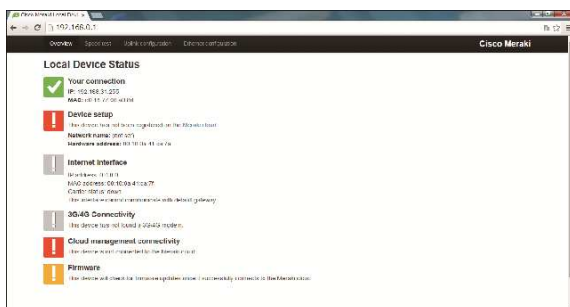
IP アドレスの確認で得られたデフォルトゲートウェイの IP アドレスに ping コマンドを実行し、ネットワーク機器と通信できていることを確認します。



DNY008

ネットワーク機器にブラウザで接続する

作業用 PC のブラウザを起動し、アドレスバーにデフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。



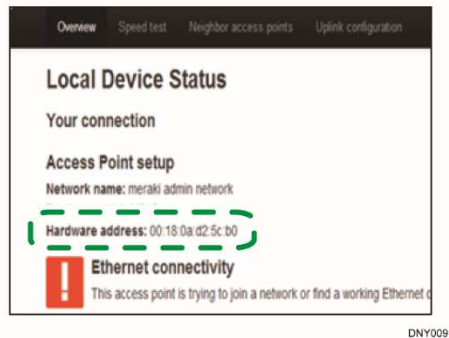
↓ 補足

- ・機種または機器の OS のバージョンによって表示される画面は異なります。

Hardware addressを確認する

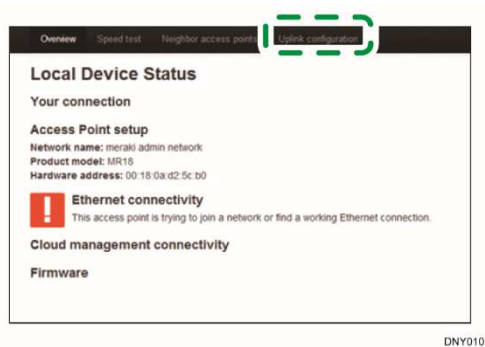
表示された Hardware addressを確認し、以下に控えておきます。

Hardware address



Uplink configurationにログインする

1. 画面の右上にある [Uplink configuration] をクリックします。



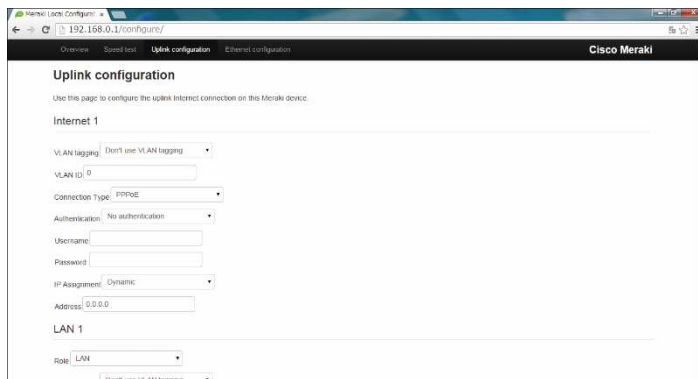
2. ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled '認証が必要' (Authentication Required). It contains the following text: 'http://my.meraki.com:80 サーバーでは、ユーザー名とパスワードが必要です。サーバーからのメッセージ: Meraki Manual Configuration. The default login is the serial number (e.g. Qxxx-xxxx-xxxx), with no password.' Below the text are input fields for 'ユーザー名:' (Username) and 'パスワード:' (Password). At the bottom are 'ログイン' (Login) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

- ・ ユーザー名：シリアルナンバーを入力します。
- ・ パスワード：空欄のままにします。

PPPoE を設定する

1. 以下の値を入力します。



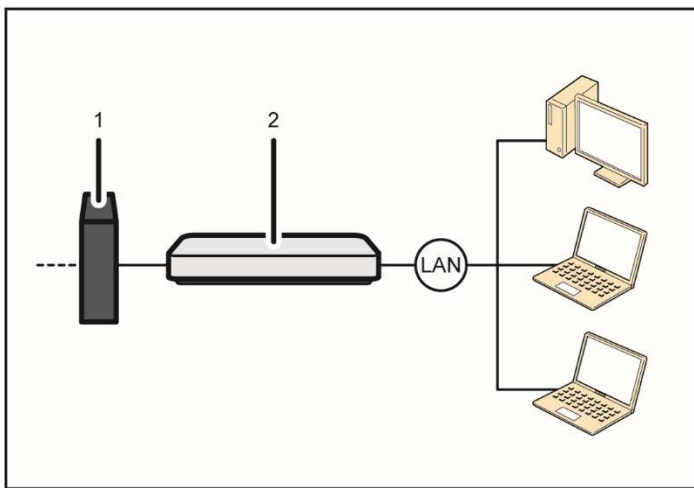
- Connection type : [PPPoE] を選択します。
- Authentication : [Use authentication] または [No authentication] を選択します。
- Username : ご契約のプロバイダーのユーザー ID を入力します。
- Password : ご契約のプロバイダーのパスワードを入力します。

2. 画面下部にある [save settings] をクリックします。

3. ウィンドウを閉じます。

ネットワーク機器を交換する (Z1、MX64、MX64W、MX80、MX84 のみ)

故障した機器を取り外し、以下の接続例に沿って機器を接続します。

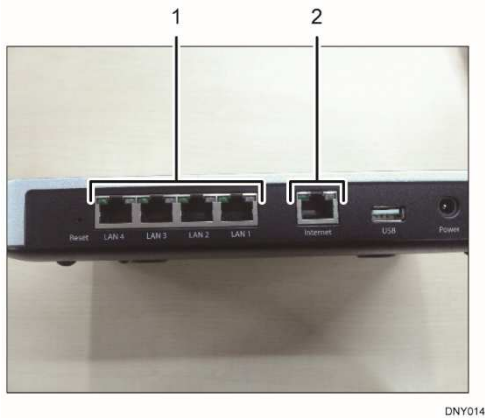


DNY013

1. ONU

2. ネットワーク機器 : WAN 側を internet ポート、LAN 側を LAN ポートに接続します。

ネットワーク機器の接続ポートは以下の図のようになります。



1. LAN ポート
2. Internet ポート

正常に接続されているか確認する

1. 機器の交換が完了したら、必ず以下の電話番号に電話します。

IT コンタクトセンターにて、正常に接続されているか確認します。

・フリーダイヤル 0120-025-361

(月曜～土曜 8:30～18:00 年末、年始、および株式会社リコーの定める休日を除く)

電話では以下の項目を伝えてください。

- ・契約 ID (ご契約時の Welcome メールに記載されています)
- ・お客様名
- ・ご連絡先電話番号

2. IT コンタクトセンターより折り返しお客様へ、接続の確認結果を連絡します。

故障した機器の送付先などについても案内しますので、メモの準備をしてください。

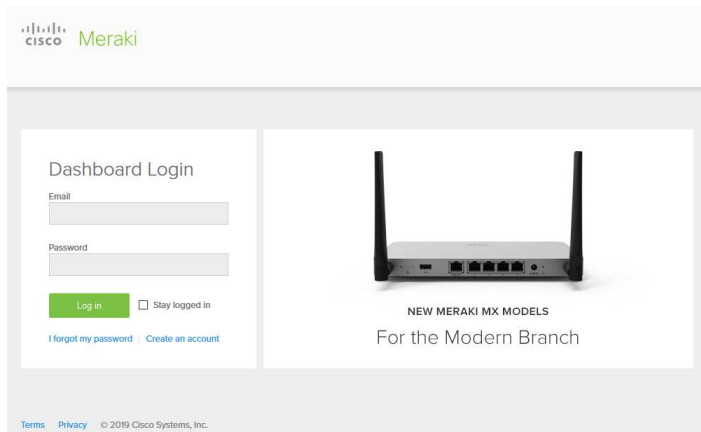
無線 LAN および VPN の管理

ユーザー管理ポータル画面にログインする

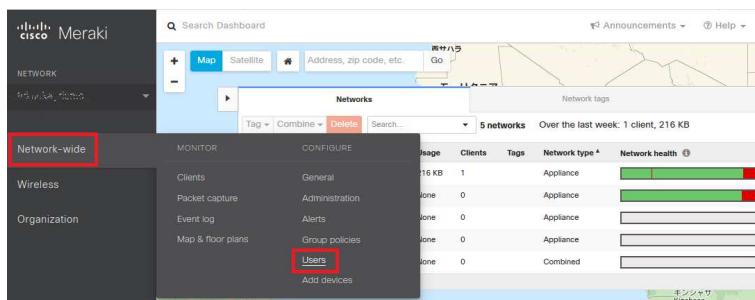
1. 以下の URL にアクセスします。

https://account.meraki.com/secure/login/dashboard_login

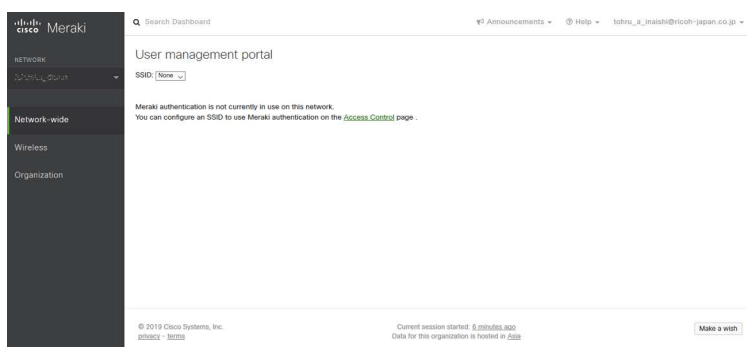
2. Email アドレス、パスワードを入力し [Log in] をクリックします。



3. 画面左のメニューで [Network-wide] にマウスオーバーし、[Users] をクリックします。



4. 以下の画面が表示されます。



クライアント VPN ユーザー/無線 LAN ユーザーを新規追加する

1. 「Zone」プルダウンメニューより、ユーザーを追加するグループ名を選びます。

- ・ クライアントVPNユーザーのとき : [Client VPN] を選択
- ・ 無線LANユーザーのとき : 対象のSSIDを選択

2. 画面右側にある [Add new user] をクリックします。

3. 各項目に入力し、[Create user] をクリックします。

- ・ Name : 追加するユーザー名を入力します。
- ・ Email : 追加するユーザーのEmailアドレスを入力します。
- ・ Password : 追加するユーザーのパスワードを入力します。 [Generate] ボタンをクリックするとランダムパスワードが生成されます。
- ・ Email new password to user : チェックしてユーザーを新規追加すると、「Email」に入力したアドレスにパスワードが通知されます。「Password」欄に入力すると表示されます。
- ・ Authorized : [Yes] を選択するとユーザーIDで認証できます。
- ・ Expires : 有効期限を指定します。初期値は [Never] (期限なし) です。「Authorized」欄で [Yes] を選択すると表示されます。

ユーザーが一覧画面に表示され、[Save Changes] 部分が黄色くなります。

4. [Save Changes] をクリックします。

5. 「Changes saved.」と表示されます。

クライアント VPN ユーザー / 無線 LAN ユーザーの情報を変更する

1. 「Zone」プルダウンメニューより、変更するユーザーが所属するグループ名を選びます。

User management portal
Zone: Client VPN

Authorization: [dropdown]

Name	Email	Account type	Authorized for Client VPN *
New User	newuser@gmail.com	Guest	Yes

- ・ クライアントVPNユーザーのとき : [Client VPN] を選択
- ・ 無線LANユーザーのとき : 対象のSSIDを選択

2. 変更するユーザーをクリックします。

User management portal
Zone: Client VPN

Authorization: [dropdown]

Name	Email	Account type	Authorized for Client VPN *	Authorized by
1		Guest	Yes	admin
2		Guest	Yes	
3		Administrator	—	

3. 変更する個所を上書きし、[Update user] をクリックします。

Update user

Account type: Guest

Name: New User

Email: newuser@gmail.com

Password: [masked] [change](#)

Authorized: Yes

Expires: Never [change](#)

Close Print Update user

- ・ Name : ユーザー名を入力します。
- ・ Email : ユーザーのEmailアドレスを入力します。
- ・ Password : ユーザーのパスワードを入力します。変更するときは [change] リンクをクリックします。
- ・ Authorized : [Yes] を選択するとユーザーIDで認証できます。
- ・ Expires : 有効期限を指定します。変更するときは [change] リンクをクリックします。

更新したユーザーの情報が一覧画面表示に表示され、[Save Changes] 部分が黄色くなります。

4. [Save Changes] をクリックします。

User management portal
Zone: Client VPN

Authorization: [dropdown]

Description	Email (Username)	Account type	Authorized for Client VPN *	Authorized by	Expires

Save Changes

5. 「Changes saved.」と表示されます。

User management portal

Zone: Client VPN

Authorization: [dropdown] Remove Users: authed:false

Description	Email (Username)	Account type	Authorized for Client VPN *	Authorized by	Expires

↓ 補足

- ・ 「Account type」が「Guest」のユーザーの情報だけ変更できます。

クライアント VPN ユーザー/無線 LAN ユーザーを削除する

お客様の権限ではユーザーを削除できません。

ユーザーを無効にするときは、「Authorized」を [No] に設定します。

また、「Name」、「Email」、「Password」を上書きして新規ユーザーに書き換えることができます。

Update user

Account type: Guest

Name: New User_rename

Email: newuser@gmail.com

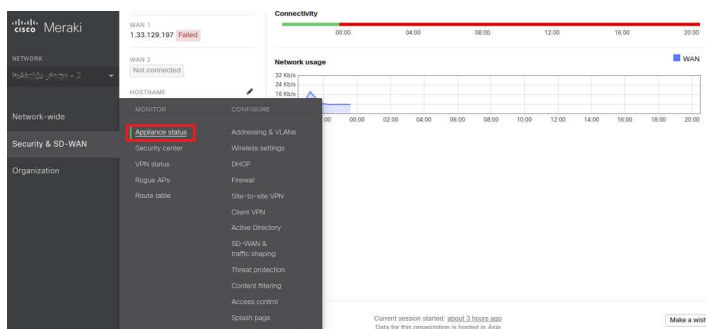
Password: [masked] change

Authorized: No

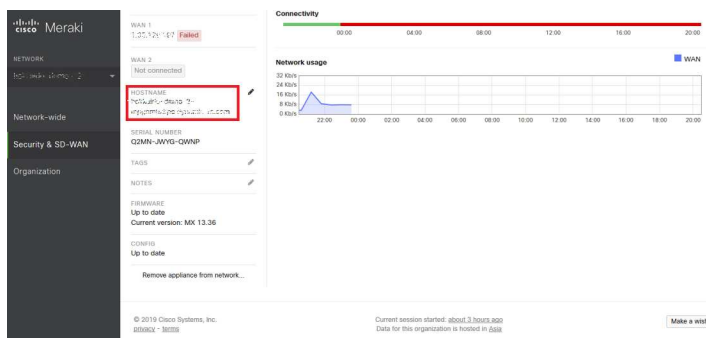
Buttons: Close, Print, Update user

DDNS 名を確認する

1. 画面左のメニューで [Security appliance] にマウスオーバーし、[Appliance status] をクリックします。



2. 「Status」セクションの「Hostname」で、割り当てられた DDNS 名が確認できます。



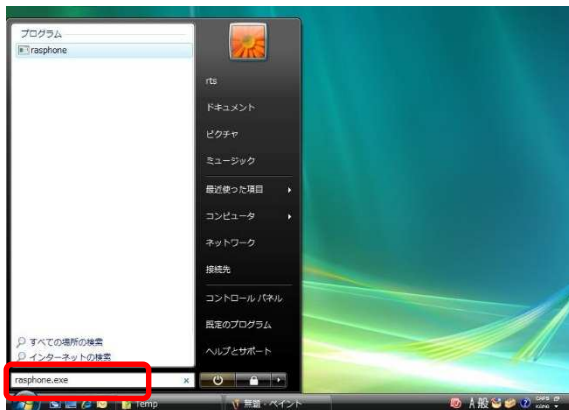
VPN クライアント(L2TP/IPsec)を設定する (パソコン版)

↓ 補足

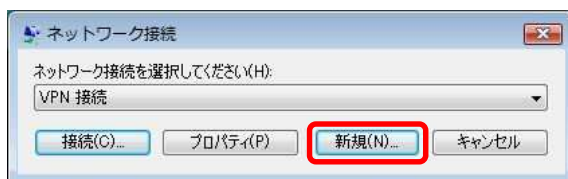
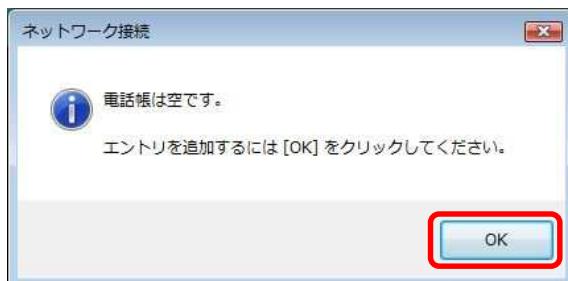
・本章は Windows 7 の画面で説明します。他のバージョンで画面が異なるときは適宜読み替えてください。

リモートアクセス設定ウィザードを実行する (パソコン版)

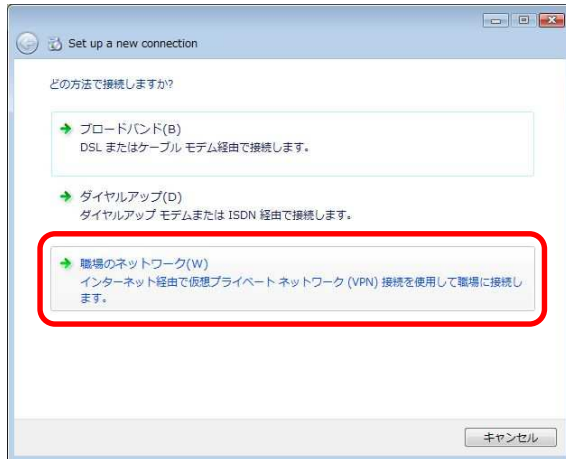
1. スタートメニューの検索ボックスに「rasphone.exe」と入力し、エンターキーを押します。



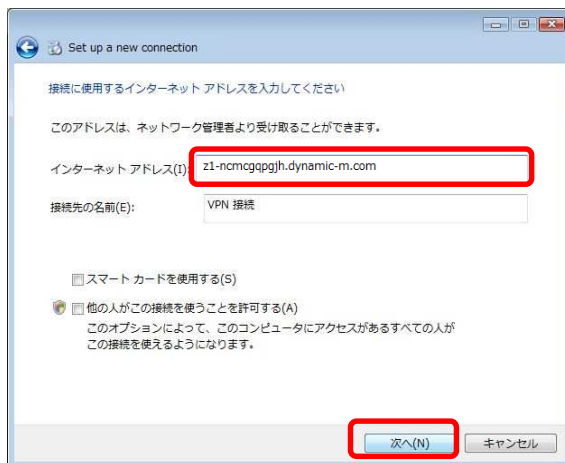
2. 以下のいずれかの画面が表示されます。



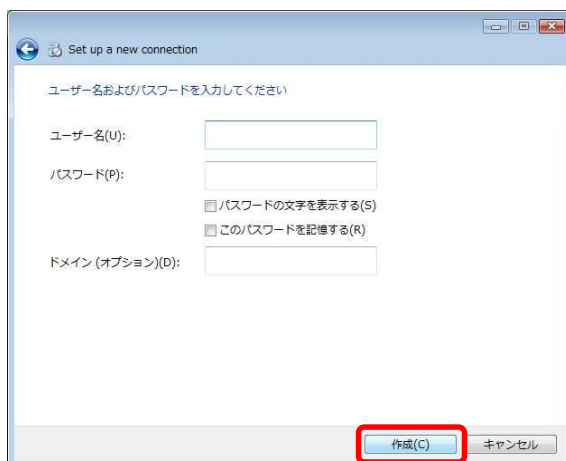
3. 「職場のネットワーク」をクリックします。



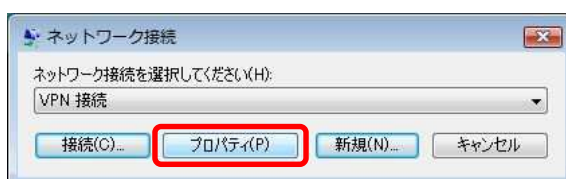
4. 「インターネットアドレス」に p.17 「DDNS 名を確認する」で確認した「Hostname」を入力し、[次へ]をクリックします。



5. 各項目は空欄のまま [作成] をクリックします。

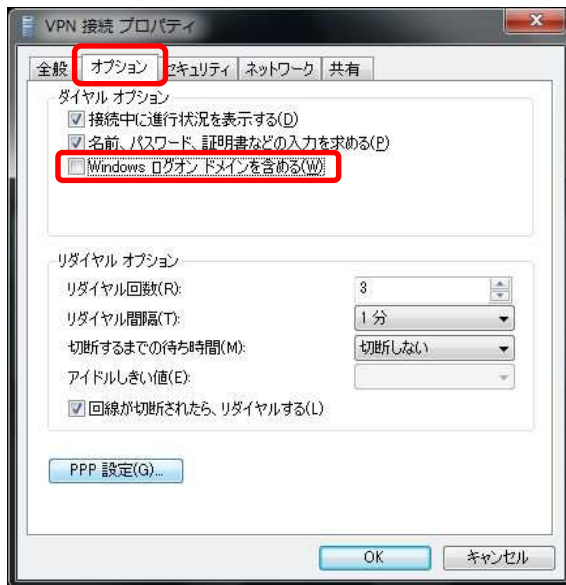


6. [プロパティ] をクリックします。



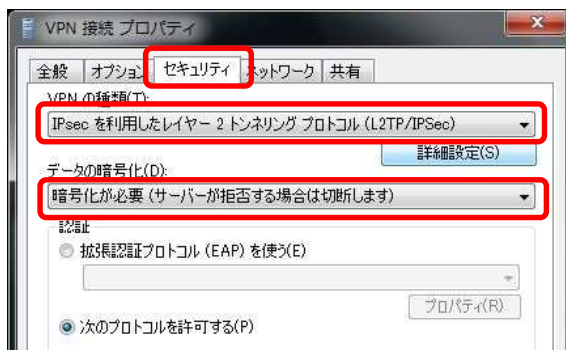
プロパティを設定する (パソコン版)

1. 「導入準備シート」にしたがって、プロパティを以下の通りに設定します。



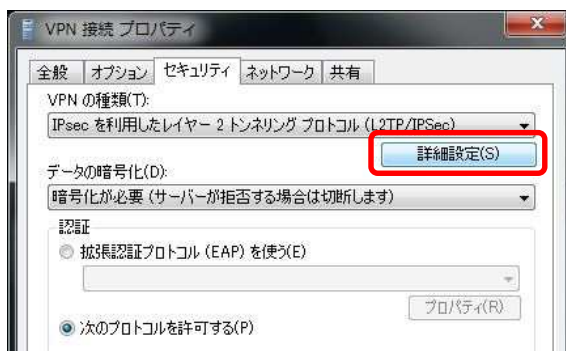
- ・ [オプション] タブの「Windows ログオンドメインを含める」チェックを外して、[OK] をクリックします。

2. [セキュリティ] タブをクリックし、以下のように設定します。

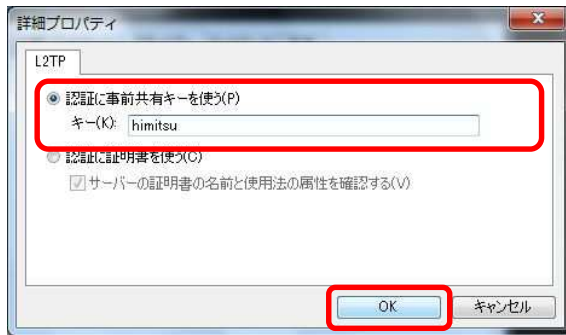


- ・ 「VPNの種類」:[IPsecを利用したレイヤー2トンネリングプロトコル(L2TP/IPsec)] を選択します。
- ・ 「データの暗号化」:[暗号化が必要(サーバーが拒否する場合は切断します)] を選択します。

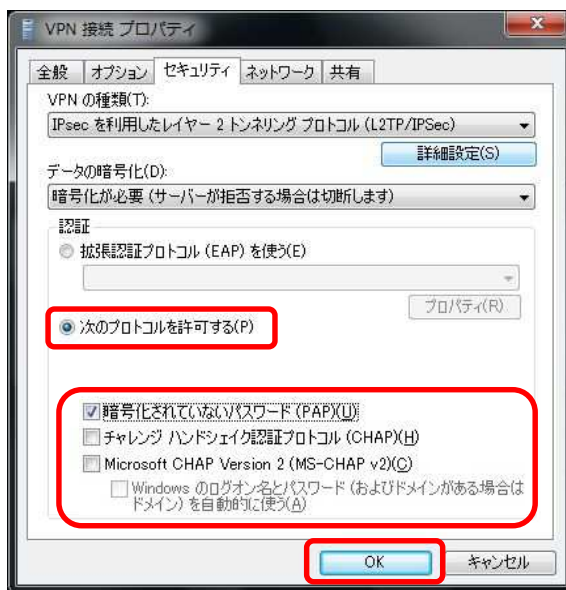
3. [詳細設定] をクリックします。



4. 「導入準備シート」の [Client VPN] シートに記載されている「事前共有鍵」を入力して、[OK] をクリックします。



5. 「認証」の項目を以下のように設定し、[OK] をクリックします。



- ・ [次のプロトコルを許可する] にチェックを入れます。
- ・ [暗号化されていないパスワード] だけにチェックを入れます。

接続する (パソコン版)

1. 「ネットワーク接続」画面で [VPN 接続] が選択されていることを確認して、[接続] をクリックします。



- ・ インターネットに接続されている必要があります。

2. 以下のとおり項目を設定し、[接続] をクリックします。



- ・ 「ユーザー名」 : 「導入準備シート」の[users]シートに記載されている「電子メールアドレス」を入力します。
- ・ 「パスワード」 : 設定したパスワードを入力します。
- ・ 「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」 : チェックを外します。

3. 以下の画面が表示されたときは、[社内ネットワーク] をクリックします。



4. [閉じる]をクリックします。



切断する(パソコン版)

1. タスクトレイのネットワークアイコン(または)をクリックし、[接続済み]をクリックします。



2. [切断]をクリックします。



動作を確認する（パソコン版）

↓ 補足

・本章は Windows 7 の画面をベースに説明します。他のバージョンで画面が異なるときは適宜読み替えてください。

VPN 接続画面を起動する（パソコン版）

1. タスクトレイのネットワークアイコン（ または ）をクリックし、表示されたメニューから目的とする VPN 接続先をクリックし接続します。本項目は Windows7/8.1/10 それぞれの画面で説明します。

<Windows7 画面>



<Windows8.1 画面>



<Windows10 画面>



続けて表示された画面で「目的とする VPN 接続先」をクリック後、「接続」をクリックします



2. ユーザー名とパスワードを入力し、[接続] をクリックします。

<Windows7/8.1 画面>



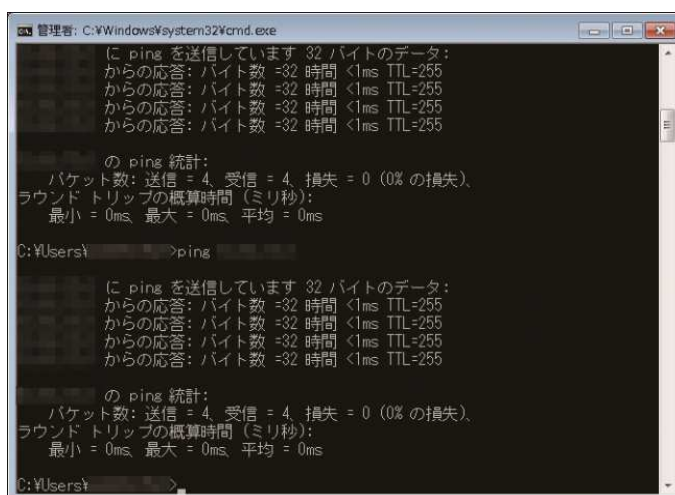
<Windows10 画面>



3. 「接続済み」と表示されることを確認します。



4. コマンドプロンプトを開き、接続先機器の LAN 側の IP アドレス宛に ping コマンドを実行して、応答があることを確認します。



↓ 補足

- ・ 接続先機器の LAN 側の IP アドレスは、「導入準備シート」の [Addressing & VLANs] の IP アドレス設定に記載されています。

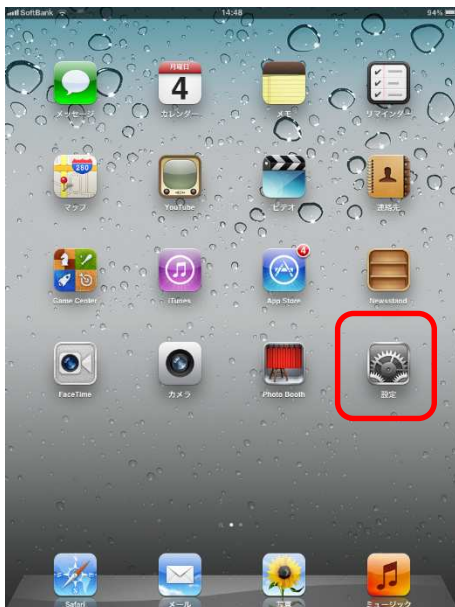
VPNクライアント(L2TP/IPsec)を設定する (iOS版)

↓ 補足

・本章は iPad (iOS 7.0.3) の画面で説明します。他の機種や OS バージョンで画面が異なるときは適宜読み替えてください。

L2TP を設定する (iOS版)

1. 接続先機器の設定および設置が完了していることを確認します。
2. [設定] をタップします。



3. [一般] をタップし、[VPN] をタップします。



4. [VPN 構成を追加] をタップします。



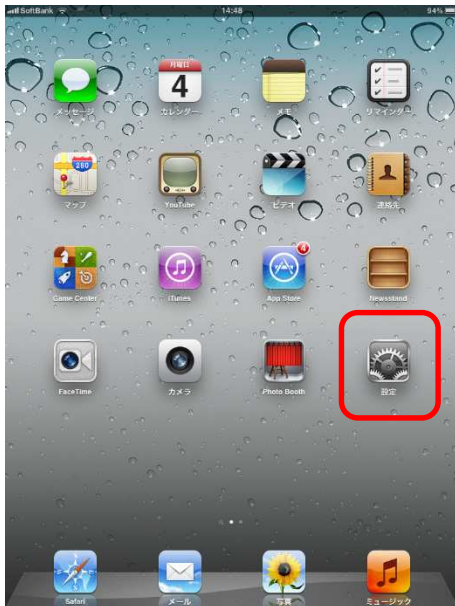
5. 「L2TP」設定の各項目を入力し、[保存] をタップします。



- ・説明 : 任意の内容を入力します。
- ・サーバ : p.17「DDNS 名を確認する」で確認した接続先機器の「Hostname」を入力します。
- ・アカウント : 「導入準備シート」の [user] シートに記載されている電子メールアドレスを入力します。
- ・RSA SecureID : 無効 (OFF) に設定します。
- ・パスワード : 入力しません。
- ・シークレット : 「導入準備シート」の [Client VPN] シートに記載されている事前共有鍵を入力します。
- ・すべての信号を送信 : 有効 (ON) に設定します。
- ・プロキシ : [オフ] を選択します。

接続と切断を確認する (iOS版)

1. 「設定」をタップします。



2. 「VPN」を [オン] にします。



3. 「パスワード」に設定済みのパスワードを入力し、[完了]をタップします。



4. 「一般」の「VPN」が [接続中] と表示されることを確認します。



5. 切断するときは、「設定」の「VPN」を [オフ] にします。

VPN クライアント (L2TP/ IPsec) を設定する (Android 版)

↓ 補足

・本章は DoCoMo S0-03D の Android4.0 の画面で説明します。他の機種や OS バージョンで画面が異なるときは適宜読み替えてください。

L2TP を設定する (Android 版)

1. 接続先機器の設定および設置が完了していることを確認します。
2. [設定] をタップします。



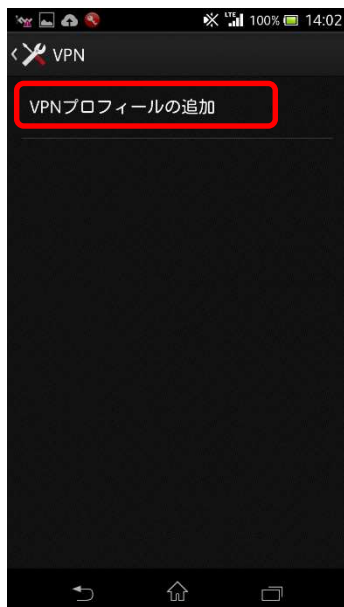
3. [その他の設定] をタップします。



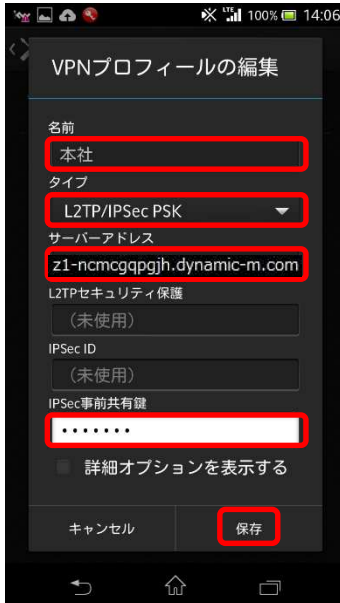
4. [VPN] をタップします。



5. [VPN プロフィールの追加] をタップします。



6. 各項目を入力し、[保存]をタップします。



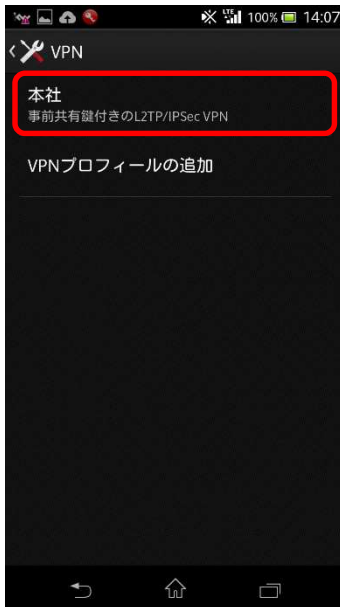
- ・ 名前 : 任意の内容を入力します。
- ・ タイプ : [L2TP/IPSec PSK] を選択します。
- ・ サーバーアドレス : p.17「DDNS名を確認する」で確認した接続先機器の「Hostname」を入力します。
- ・ IPsec 事前共有鍵 : 「導入準備シート」の [Client VPN] シートに記載されている事前共有鍵を入力します。

7. VPNプロフィールが追加されたことを確認します。



接続を確認する (Android 版)

1. 接続する VPN プロフィールをタップします。

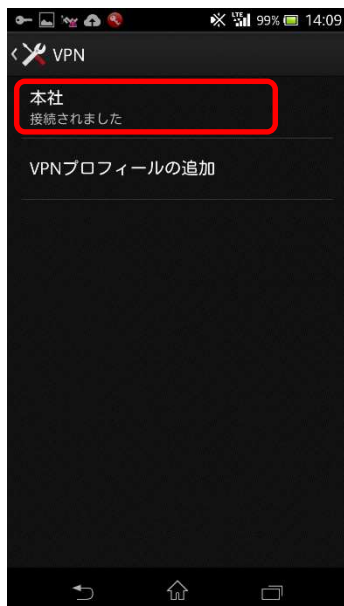


2. 各項目を入力し、[接続] をタップします。



- ・ユーザー名 : 「導入準備シート」の [user] シートに記載されている電子メールアドレスを入力します。
- ・パスワード : 設定済みのパスワードを入力します。
- ・「アカウント情報を保存する」: チェックを外します。

3. 「接続されました」と表示されることを確認します。



切断を確認する (Android版)

1. 切断するVPNプロフィールをタップします。



2. 「切断」をタップします。



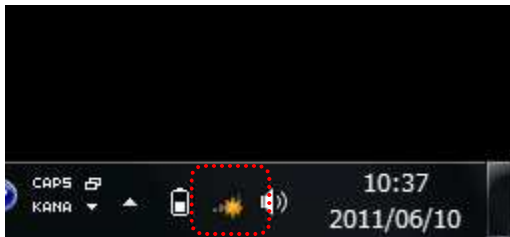
無線プロファイルを設定する（パソコン版）

↓ 補足

- ・ 本章は Windows 7 の画面で説明します。他のバージョンで画面が異なるときは適宜読み替えてください。
- ・ 無線 LAN アダプターによっては以下の手順通りに設定できません。そのようなアダプターは本サービスのサポート対象外となります。

プロファイルを設定する（パソコン版）

1. パソコンに LAN ケーブルが接続されていないことを確認します。
2. パソコンに管理者権限を持つユーザーでログインします。
3. 画面右下のタスクトレイにある無線 LAN 接続アイコンをクリックします。



- ・ タスクトレイにアイコンが表示されていないときは、三角形のアイコンをクリックして無線 LAN 接続アイコンを表示します。

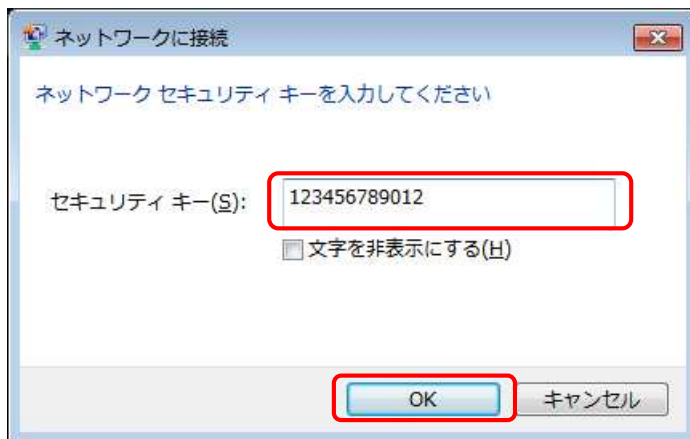


4. 接続するアクセスポイントのSSIDを選択し、[接続] ボタンをクリックします。



- ・ 「導入準備シート」の「Wireless settings シート」で「SSID 表示有無」が [表示しない] に設定されているときは、SSID が一覧に表示されません。p.39 「手動による設定 (パソコン版)」の手順を参考に設定してください。

5. 「導入準備シート」の「Wireless settings シート」の「プリシェアードキー」欄に記載された文字列を入力し、[OK] をクリックします。

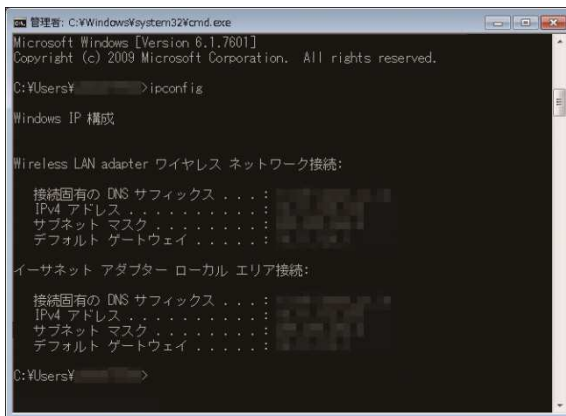


6. 以下のいずれかの画面が表示されたときは、[はい、共有をオンにしてデバイスに接続します]または[はい]をクリックします。



・お使いの OS によっては、こちらの画面は表示されません。

7. コマンドプロンプトを起動し「ipconfig」と入力後、エンターキーを押します。
無線 LAN アダプターの項目に正しい IP アドレスが表示されることを確認します。



↓ 補足

- ・設定が必要な台数分、上記の手順を繰り返し実施します。
- ・手順 7 において、ネットワーク内に複数の LAN アダプターが存在するときは、無線 LAN アダプターの情報だけでなく、他の有線 LAN のアダプターなどの情報もあわせて表示されます。目的の無線 LAN アダプターの情報を確認してください。

動作を確認する（パソコン版）

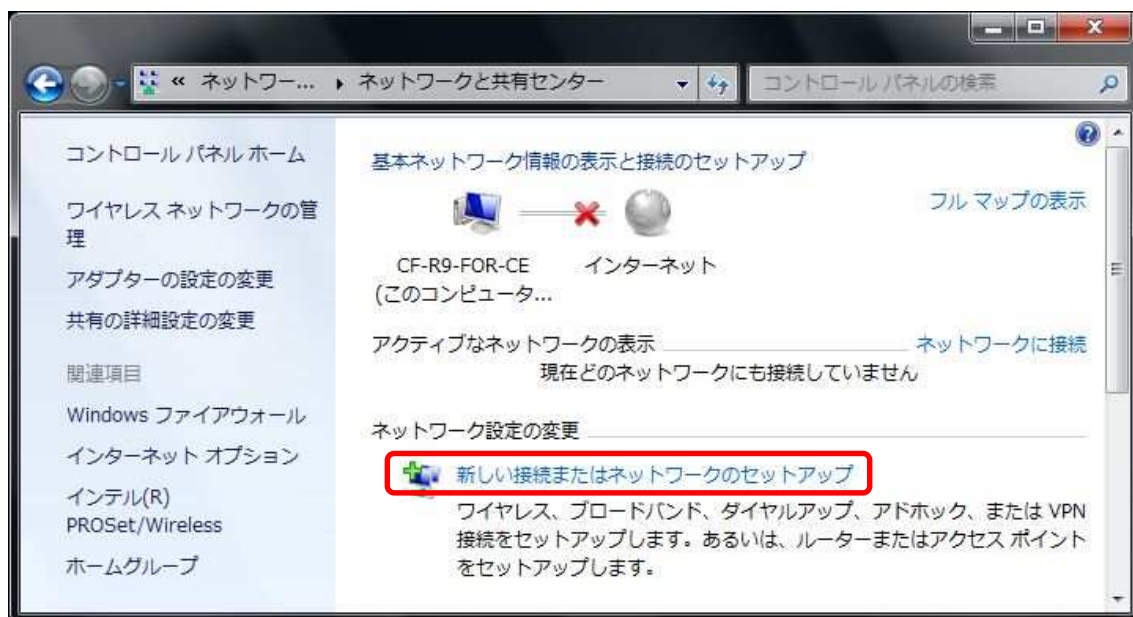
1. PC に LAN ケーブルが接続されていないことを確認します。
- ・ DHCP サーバーがない環境のときは、無線 LAN アダプターに適切な IP アドレスを設定します。

2. ブラウザーを起動し、アドレス欄に「http://ricoh.co.jp/」と入力してリコーのホームページが表示されることを確認します。



手動による設定 (パソコン版)

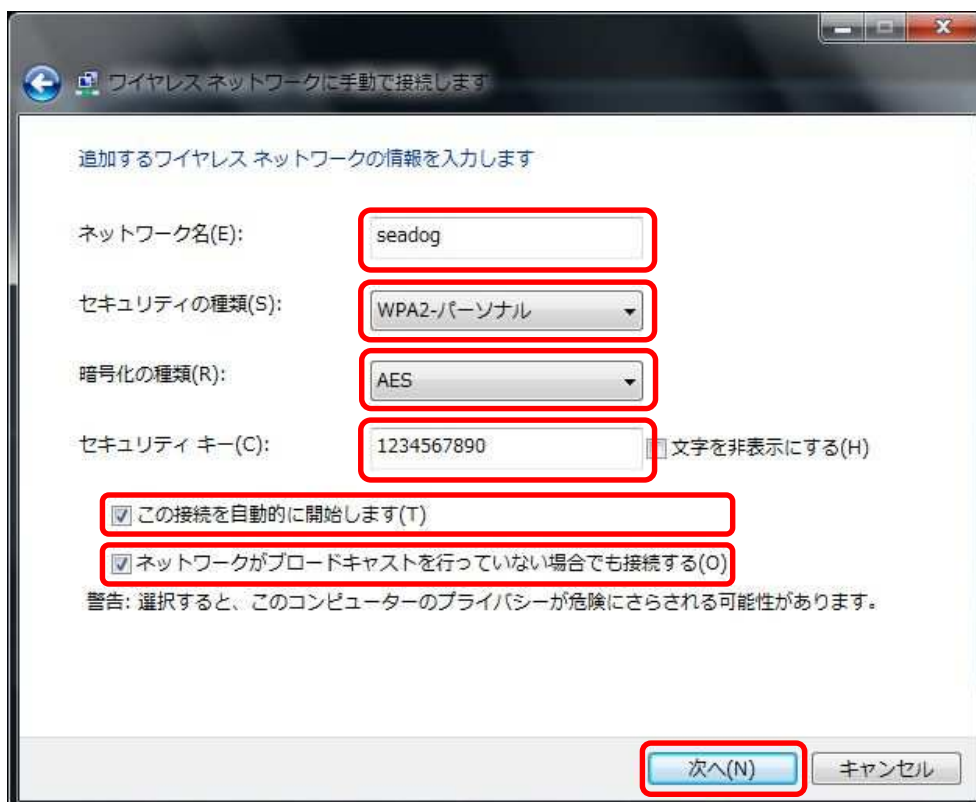
1. [スタート] [コントロールパネル] [ネットワークとインターネット] [ネットワークと共有センター] を開き [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックします。



2. [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックします。



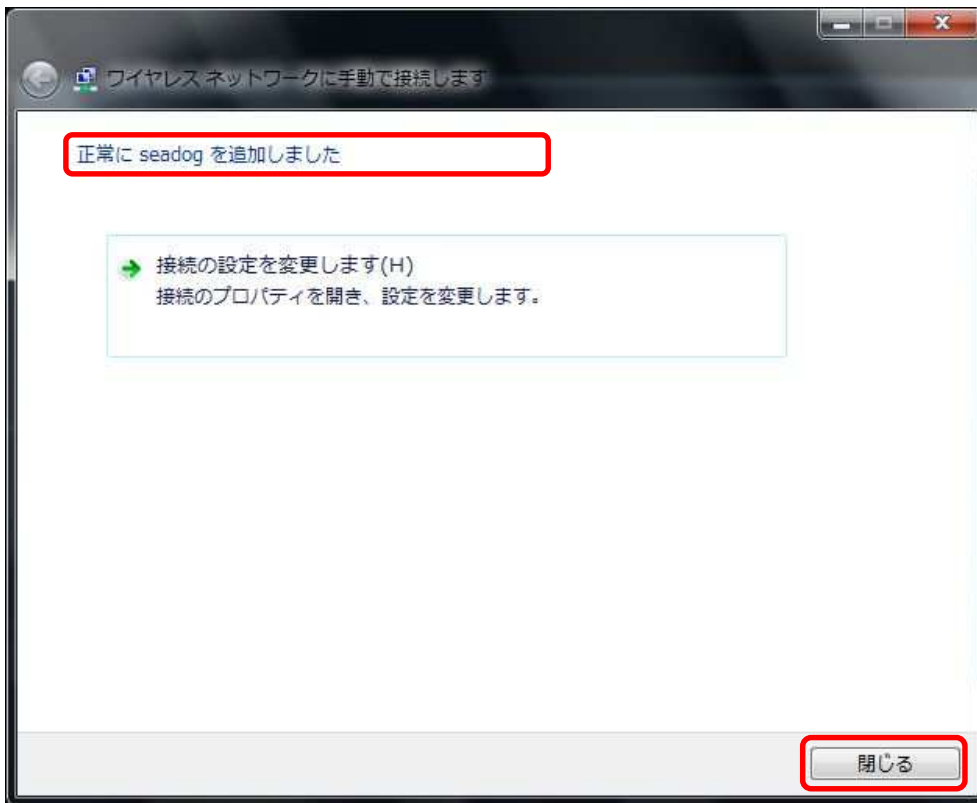
3. 「導入準備シート」の「Wireless settings シート」に従って各項目を設定し、「次へ」をクリックします。



- ・ ネットワーク名 : SSID 名を入力します。
- ・ セキュリティの種類 : 暗号化方式に従って入力します。
- ・ 暗号化の種類 : 暗号化方式に従って入力します。
- ・ セキュリティ キー : プリシェアードキーを入力します。
- ・ この接続を自動的に開始します : チェックを入れます。

- ・ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する：チェックを入れます。

4. 正常にネットワークが追加されたことを示すメッセージを確認し、[閉じる] をクリックします。



5. 正常に Wi-Fi ネットワーク接続がされたことを確認します。



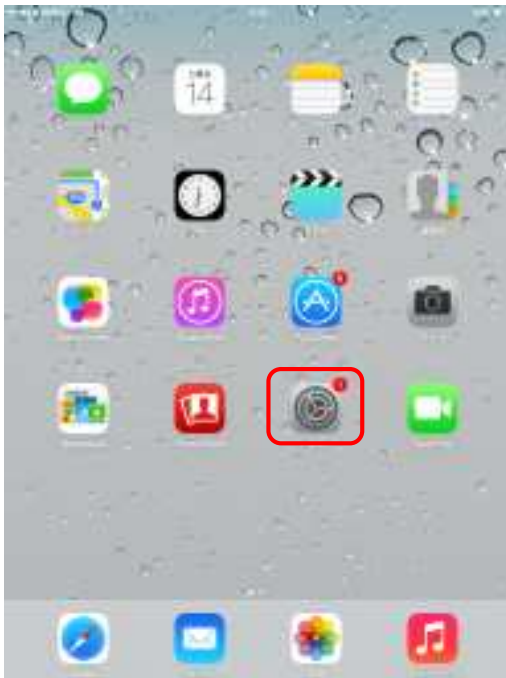
無線プロファイルを設定する (iOS 版)

↓ 補足

- ・本章は iPad (iOS 7.0.3) の画面で説明します。他の機種や OS バージョンで画面が異なるときは適宜読み替えてください。

プロファイルを設定する (iOS 版)

1. 接続先機器の設定および設置が完了していることを確認します。
2. [設定] をタップします。



3. [Wi-Fi] をタップします。



4. 接続するアクセスポイントのSSIDをタップします。



- ・「導入準備シート」の「Wireless settings シート」で「SSID 表示有無」が [表示しない] に設定されているときは、SSID が一覧に表示されません。接続するアクセスポイントを手動で追加し、設定してください。

5. 「導入準備シート」の「Wireless settings シート」の「プリシェアードキー」欄に記載された文字列を入力し、**[接続]** をタップします。



6. 接続した SSID の左にチェックがつき、画面上部に Wi-Fi アイコンが表示されていることを確認します。



↓ 補足

・設定が必要な台数分、上記の手順を繰り返し実施します。

動作を確認する (iOS 版)

1. ブラウザーを起動し、アドレス欄に「<http://ricoh.co.jp/>」と入力してリコーのホームページが表示されることを確認します。



無線プロファイルを設定する (Android 版)

↓ 補足

- ・本章は DoCoMo P-06D の Android4.1 の画面で説明します。他の機種や OS バージョンで画面が異なるときは適宜読み替えてください。

プロフィールを設定する (Android 版)

1. 接続先機器の設定および設置が完了していることを確認します。
2. アプリ一覧アイコンをタップします。



3. [設定] をタップします。



4. [Wi-Fi] をタップし、Wi-Fi を ON にします。



5. 接続するアクセスポイントのSSID をタップします。



- ・「導入準備シート」の「Wireless settings シート」で「SSID 表示有無」が [表示しない] に設定されているときは、SSID が一覧に表示されません。接続するアクセスポイントを手動で追加し、設定してください。

6. 「パスワード」欄に、「導入準備シート」の「Wireless settings シート」の「プリシェアードキー」欄に記載された文字列を入力し、[接続] をタップします。



7. 目的のアクセスポイントが「接続済み」と表示されることを確認します。



↓ 補足

- ・設定が必要な台数分、上記の手順を繰り返し実施します。

動作を確認する (Android 版)

1. ブラウザーを起動し、アドレス欄に「<http://ricoh.co.jp/>」と入力してリコーのホームページが表示されることを確認します。




お問い合わせ先

リコージャパン株式会社 ITコンタクトセンター

ご質問は以下のフリーダイヤルへのお電話にてお願いいたします。

フリーダイヤル

 0120-025-361

受付時間

月曜～土曜 8:30 ～ 18:00

(年末、年始、および株式会社リコーの定める休日を除く)

商標

Google および Google Chrome™ ブラウザは Google Inc.の商標です。

Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Firefox、Thunderbird は Mozilla Foundation の商標です。

Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、Windows Live、Excel および Outlook Express は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Vista® Ultimate

Microsoft® Windows Vista® Business

Microsoft® Windows Vista® Home Premium

Microsoft® Windows Vista® Home Basic

Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 7 Starter

Microsoft® Windows® 7 Home Premium

Microsoft® Windows® 7 Professional

Microsoft® Windows® 7 Ultimate

Microsoft® Windows® 7 Enterprise

- Windows 8 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 8

Microsoft® Windows® 8 Pro

Microsoft® Windows® 8 Enterprise

- Internet Explorer 8 の正式名称は Windows® Internet Explorer® 8 です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

